

タイトル：My closet My storage

エントリー番号：0136

REAL SHOPPING RPG

MY CLOSET MY STORAGE

マイ クローゼット

マイ ストレージ



コンセプト

オンライン
ショッピング

欲しいものがいつでもすぐに。
Cookie・AIが自分の興味・嗜好に
近いものをお勧め・広告してくれる

でも

辞書で調べ物をする際に、前後にある目的外の言葉や対義語と出会うかのような、意外な発見や知識の広がり・トキメキが全く無い。。。

リアル
ショッピング

魚屋や八百屋の大將が「今日は良いの入ってるよ！！」「これ●●に使っても美味しいよ！」と勧めてくれてつい目的外の物を買った時のように知識・興味外の新しい発見と出会い期待値がある。
本物を、現物を、生で、間近に見て触れ、五感で感じられること＝ワクワク体験となる。

知識外・想定外の新たなアイテムとの出会いを求め、オンラインとリアルを繋ぐようなクローゼット、倉庫の新しいカタチ・イベントを提案する。

気になるあの人のクローゼットや自分の自慢ストレージがリアルになり、飲食店やカフェでメニュー選びに迷っても、そこにシェフの本音コメントが添えられる。目的が無いショッピングでもレベルに応じて全国のタイムリーな情報やインフルエンサーが、あなたを未知の買い物ダンジョンへ誘ってくれる。

理想のショッピングがリアルにできる。時間が足りなくなっても大丈夫。コンテニュー出来るから。

具現化

1、未視感のワクワクを、身近ないつもの店舗でも、商店街の空き区画でも、モールでも

既存ショッピングモールやホームセンターの一画などに、オンラインから飛び出してきたクローゼットや倉庫が連続しポップアップストアが展開される。

既存店舗を利用するため新築や建替工事に比べCO2排出量削減や【つくる責任 つかう責任】にも繋がる。

2、ブランドの羅列ではなく「あの人」の連続を作る

見たいのはインフルエンサーや業界リーダーのクローゼット・倉庫。どんなアイテムを選んでいて、どういうコーディネート、組み合わせをしているかを覗きたい。

その人と同じクローゼットが今ここにあって、アイテム実物が手にとれて、買える。

3、リアルお披露目の祭典で「共感」と「競争意識」を促す

年に1度、プロ・アマ各自自慢のクローゼットやストレージがオンライン上で投票され、ランキング上位者のリアルクローゼットが店頭に並ぶ祭典『クローゼット・オブ・

ザ・イヤー』や『ストレージ・オブ・ザ・イヤー』を開催。日頃会えない外商、バイヤーとの出会い、意見交換の場を創出。

4、買い物ノープランの人にリアルショッピングを促す RPG システム

趣味、嗜好、好きなブランド、テイストなどを数項目入力するとお勧めのショッピングプランを提案してくれる。購買履歴や閲覧行動を学習したAIが「どこどこの店にお勧めのクローゼットがあり、〇〇というアイテムを見つける」「●●の〇〇さんに会う」などゲーム感覚をカスタマイズしていきリアルショッピングを促す。

5、ショッピングレベルに応じてあなただけのショッピングコースやプランが提案される

専門家や話題の人がセレクトするアイテムや店のタイムリーな情報が手に入ったり、途中のランチやカフェ、スイーツ情報まで。1日のショッピングモデルコースや隠れ家ショップの見るべきアイテムまで教えてくれる。街全体がダンジョンのようにショッピング出来る。

オンライン上ではレベルに応じて、マイクローゼットやマイ倉庫のアップグレードが出来たり、カスタマイズもでき、リアルショッピングの欲望を駆り立てる。

タイトル：My closet My storage

エントリー番号：0136

クローゼット・オブ・ザ・イヤー地方巡業イメージ

